

科目名	環境都市工学演習（1a） Civil Engineering Exercises 1a	科目コード	51350
-----	--	-------	-------

学科名・学年	環境都市工学科・3年
担当教員	山本 隆広（環境都市工学科）
区分・単位数	履修単位科目・必履修・1単位
開講時期・時間数	後期，30時間【内訳：講義30】
教科書	
補助教材	自作教材（配付資料）
参考書	

【A. 科目の概要と関連性】

環境都市工学が関与する施設（建設中の施設を含む）や展示の見学をおこない、環境都市工学の実際と社会的な役割について学ぶ。

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(C)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
①環境都市工学の社会的な役割を理解する。	35%	(c2)
② 土木系公共施設の構造的、材料的な特徴を理解する。	35%	(c2)
③ 土木系公共施設の施工方法を理解する	30%	(c2)

【C. 履修上の注意】

どのような技術の分野でも、実物を見たり、実物に触れて考えることが不可欠だが、環境都市工学の「作品」のなかで、校内で実物に接することができるものは限られている。

この授業は、そのような状況を克服するために設けられたものであり、環境都市工学の実際に触れるための機会を提供する。

見学（特に工事現場での見学）に際しては、安全や礼儀に配慮した衣類を着用し、靴を履くこと。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50点以上を合格とする。

- 定期試験（0%）
- その他の試験（0%）
- レポート（100%）
- その他（0%）

【E. 授業計画・内容】

● 後期

回	内容	備考
1	授業案内	
2	見学（1回目）のための事前説明	
3	見学（1回目）	第4回と合わせて半日（2回分）の活動
4		
5	見学レポート作成	
6	レポート作成法（講義と演習）	
7	見学レポートの改訂	
8	見学（2回目）のための事前説明	試験時間：50分
9	事前学習（関連情報の収集）	
10	事前学習（レポートの作成）	
11	見学（2回目）	第12回と合わせて半日（2回分）の活動
12		
13	見学レポート作成	
14	見学レポートの改訂	
—	前期末試験	試験期間のため休講
15	授業のまとめ	